

## 世界の諸地域 アフリカ州

# 「特定の生産品にたよる生活からの変化」

本単元で育成する資質・能力 自らへの自信

1 日時 令和2年9月29日（火）第5校時

## 2 単元について

### 【人権教育の視点との関連】知識的側面

発展途上国に多く見られる児童労働において、教育の機会を奪う、安い賃金で危険な仕事に従事させるなどの人権が侵されている現状を認識させ、その過程で、自他の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を身に付けさせる。

### 【人権教育の視点との関連】技能的側面

映像や資料をもとに自分の考えをまとめ、交流する。その中で、根拠を示して分かりやすく説明する力や、自分と違う考えを評価し、より妥当な結論にたどり着ける力を育成する。

### （1）単元観

本単元は、中学校学習指導要領解説（社会編）地理的分野の「世界の諸地域」（ウ）アフリカを指導内容として構成したもので、アフリカに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、主題を設けて地理的特色を理解させるものである。

アフリカは人類発祥の地であり古代文明が栄えた地域だが、19世紀から20世紀前半までヨーロッパの植民地として支配されていた歴史を持つ地域でもある。「アフリカの年」といわれた1960年を境に次々と独立したが、植民地時代から続く食料生産より商品作物を優先したプランテーション農業とそれに伴うモノカルチャー経済が、ほとんどのアフリカ諸国の現状であり、これらによって引き起こされる経済の不安定さが、アフリカ諸国の発展を妨げている。

日本はアフリカの豊富な農産物や鉱産資源に支えられており、関わりは深いものがあるが、遠く離れているということもあって、中学1年生にとっては身近な地域とはいえない。そこで、「モノカルチャー経済下の人々の生活の変化」という学習主題を設定し、アフリカで産出される農産物や鉱産資源といった地理的な視点や、長い植民地支配の影響という歴史的な視点を押さえた上で、アフリカの脆弱な経済基盤の原因を多面的多角的に考え、アフリカの発展には何が必要か、また、日本との関わりや自分に何ができるのかについて追求していく。

本単元はこうした学習過程を通して、今後の他地域の学習において多面的多角的に地域的特色を捉えることが可能となる単元である。

### （2）生徒観

本学級の生徒は、全体的に明るく、落ち着いた雰囲気の中で授業に取り組んでいる。アジア州やヨーロッパ州などの他地域の学習では、積極的に話し合い活動に関わる生徒がいる一方、社会的な事象についてその背景や原因などを考えることが苦手で、自分の考えを発表することに対して消極的な生徒も見られた。

7月に行った学校評価アンケートでも、「授業で情報を比較・分類・関連付けて考えているか」

という質問に「とてもそう思う」と答えた生徒は25%に留まり、「ややそう思う」と答えた生徒が67%を占めている。また、「自分の考えとその理由を分かりやすく伝えるようにしているか」という質問に「とてもそう思う」と答えた生徒は17%に留まり、「ややそう思う」42%、「あまりそう思わない」42%となっており、思考・判断・表現の力を高めていくことが課題である。

### (3) 指導観

次の2点に留意して指導を行う。

#### ① 教科の力をつけるための視点

- ・アフリカに関わる視覚的な資料を活用し、生徒の学習意欲や課題意識を高める。【**視覚化**】
- ・複数の資料を関連付けて読み取る学習活動を取り入れることで、情報を比較・分類・関連付けて考えることの大切さに気付かせる。
- ・ペアやグループで交流する場面をつくり、自分の考えとその理由を分かりやすく伝える体験をさせる。【**共有化**】

#### ② 人権教育で身につけさせたい力をつけるための視点

- ・カカオ産業における児童労働の現状とその問題点に気付かせ、その解決に向けて日本に住む私たちができることを考えさせる。その中で、人権についての理解を深め、自他の人権を守ろうとする意識・意欲・態度を身に付けさせる。
- ・交流の際には、まず、ワークシートに自分の考えとその根拠を書かせて、自信をもって交流が行えるようにする。また、交流にあたっては、お互いが気持ちよく話せるために必要なこと（傾聴の姿勢、表情、反応）を確認し、できている生徒を評価する。

## 3 単元の日標

○アフリカについて興味・関心を持ち、学習課題に対して意欲的に取り組むことができる。

【**社会的事象への関心・意欲・態度**】

○アフリカの地域的特色について資料から適切に読み取り、多面的・多角的な視点から追求することができる。

【**社会的な思考・判断・表現**】

○アフリカの地域的特色について資料から適切に読み取り、分かりやすく説明することができる。

【**資料活用の技能**】

○アフリカの地理的特色や歴史的背景、経済の動向などの基礎的・基本的な事項について理解し、その知識を身につける。

【**社会的事象についての知識・理解**】

## 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用 の技能	社会的事象について の知識・理解
・アフリカの地理的特色について関心持ち、それを意欲的に追求している。 ・アフリカと日本の関わりについて興味・関心を持っている。	・アフリカの経済の自立に向けた課題について考察し、意見交流を通して思考を深め、その過程や結果を適切に表現している。	・アフリカについての統計資料や写真、映像資料などを比較、関連付けて、読み取っている。	・アフリカの地理的特色や歴史的背景、経済の動向などの基礎的・基本的な事項について理解し、その知識を身に付けている。

5 単元を通して育成しようとする資質能力とのかかわり

資 質 能 力	目指す生徒像
自らへの自信	○交流や発表を通して自分や仲間の良さに気づき、学習する前と比較して、自分を肯定的に評価できるようになる。 【自らへの自信☆☆☆】

6 指導と評価の計画（全4時間）

	学習内容	評価					評価規準 (評価方法)	人権教育の視点 との関連
		関 意 態	思 判 表	技 能	知 理			
課 題 の 設 定	アフリカには長い植 民地支配の影響でモノ カルチャー経済の国が 多いことを理解する。 (1時間)	○					・アフリカに関心を持 ち、地理的事象や歴史を 捉えようとしている。 (授業プリント)	【技能的側面】 ・相違を認める ・傾聴
単元を貫く問い：モノカルチャー経済下の人々の生活はどのようになっているか								
情 報 の 収 集	アフリカの産業の特色 と現在抱えている課 題について理解する。 (1時間)			○			・アフリカ諸国の経済基 盤が脆弱な理由を探る ために適切な資料を選 択し、活用している。 (授業プリント)	【技能的側面】 ・相違を認める ・傾聴 ・適切な自己表現
分 析 ・ 表 現	アフリカの人々の貧困 の原因を資料から読み 取り、それを説明する。 (本時)		○				・アフリカの人々の貧困 の原因について資料を 基に考え、分かりやすく 説明している。 (授業プリント)	【技能的側面】 ・相違を認める ・傾聴 ・適切な自己表現 ・合意形成
ま と め	アフリカの課題につい て都市化・人口増加の 視点から理解する。 (1時間)				○		・現在のアフリカが持つ 課題について、都市化・ 人口増加の視点を踏ま えて理解している。 (授業プリント)	【技能的側面】 ・相違を認める ・傾聴 ・適切な自己表現

7 本時の学習

(1) 本時の目標

カカオ農園で働く人々が貧しい理由を資料から読み取り、自分の考えの根拠を分かりやすく説明できる。



【目指すゴール】

・映像や資料をもとに自分の考えをまとめ、交流する中で、根拠を示して分かりやすく説明している。また、自分と違う考えを評価し、より妥当な結論を出そうとしている。

(2) 準備物 大きな紙を一枚、A4型用紙、カカオ豆の農園の写真、カカオ豆の農園で働く子供たちはさらに貧しい状態に置かれている。

(3) 本時の学習の流れ

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
	T : 主な発問・指示 C : 予想される生徒の反応	・ 指導上の留意事項	○ 教科 (評価方法) ● 人権教育の視点との関連
問 い を 持 つ	<p><b>1 導入</b></p> <p>T : 今日の授業は、アフリカ産の農産物から作られるもので、みんながよく食べているものが題材です。何だろう？</p> <p>C : パン、チョコレートなど。</p> <p><b>2 カカオ豆とチョコレートに関するデータを紹介する。</b></p> <p>・ 国別の1人当たり消費量、日本のカカオ豆の輸入量と輸入先などを紹介する。</p> <p><b>3 ガーナのカカオ農園の様子を視聴する。</b></p> <p><b>4 感想や疑問点を話し合わせる。</b></p> <p>C : 「子供たちがカカオから何か作られるのか知らないのはなぜだろう。」「幼い子供たちが安い賃金で重労働をさせられているのはなぜだろう。」</p> <p><b>5 本時のめあてを提示する。</b></p>	<p>・ カカオ豆の写真や数種類のチョコレートを提示し、興味関心を引き出す。</p> <p>・ 包装紙で、原材料やその産地を確認する。</p> <p>・ 『おいしいチョコレートの真実』を見て、課題を発見させる。</p> <p style="text-align: center;"><b>【視覚化】</b></p> <p>・ ペアトークで、お互いの感想を話し合わせる。 <b>【共有化】</b></p> <p>・ 気になった場面、印象に残った言葉を発表させる。</p>	<p>● 技能的側面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相違を認める</li> <li>・ 傾聴</li> <li>・ 適切な自己表現</li> </ul>
	カカオ農園で働く子供たちが安い賃金で働かされている理由を説明できる。		
自 力 解 決	<p><b>6 子供たちが安い賃金で働かされる原因について、予想を立てる。</b></p> <p>C : 「家が貧しく子供が稼がないといけないから。」「子供だと安く雇えるから。」「ガーナは貧しい国で大人の賃金も安い。」</p>	<p>・ 子供の立場、子供の親の立場、農園主の立場に立って考えさせる。</p>	

自力解決	<p>7 予想が正しいかどうかを資料 I～Vから個人で検証する。</p> <p>(I) チョコレートの価格の内訳</p> <p>(II) カカオ豆の生産国とチョコレートの生産国</p> <p>(III) カカオ豆の価格の推移</p> <p>(IV) ガーナの輸出品</p> <p>(V) 日本とガーナの1人あたりの国民所得</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの資料ごとに分析するだけでなく、資料を関連付けて考えるように指導する。</li> <li>資料I (カカオ農家はわずかな利益しか得ていない), 資料II (カカオ豆生産国のガーナは少ない利益しか得ていない), 資料III (カカオ豆の価格は不安定), 資料IV (ガーナはモノカルチャー経済の国), V (ガーナの国民所得が低い) の関連に気付かせる。</li> <li>各資料に着目点を示すヒントを入れ, 個人思考の時間を十分に確保する。</li> </ul>	<p>○資料から子供たちが安い賃金で働かされている理由を読み取れている。</p> <p>(授業プリント)</p>
集団解決	<p>8 各自の分析を班で交流し, 発表用シートにまとめる。</p> <p>9 班でまとめた内容を発表する。</p> <p>10 カカオ豆の価格が安い原因を解説した映像を視聴する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自が分析したことを班のメンバーに説明する。【共有化】</li> <li>班で話し合っまとめた内容を発表用シートに記入させる。</li> <li>各班から出た意見について, 共通点を確認する。【共有化】</li> <li>発表の話型を示し, それに基づいて発表させる。</li> <li>「この資料から分かることは」</li> <li>「この資料と資料( )から言えることは」</li> <li>『あいのりガーナ横断中』を見て, カカオ栽培の現状を捉えさせる。【視覚化】</li> </ul>	<p>●技能的側面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相違を認める</li> <li>傾聴</li> <li>適切な自己表現</li> <li>合意形成</li> </ul>
まとめ	<p>11 本時のまとめを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の授業から分かったことをまとめ, 何人かに発表させる。</li> </ul>	<p>○子供たちが安い賃金で働かされている理由を説明できている。</p> <p>(授業プリント)</p>
<p>(B評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チョコレート会社がカカオ豆を安い価格で買える仕組みになっているから, チョコレート会社が大きな利益をあげている一方で, カカオ豆の農園主は貧しく, その農園で働く子供たちはさらに貧しい状態に置かれている。</li> </ul> <p>(A評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植民地として支配されていたガーナは工業の発展が遅れ, カカオ豆を中心とするモノカルチャー経済の状態にある。その中で, 欧米のチョコレート会社がカカオ豆を安い価格で買える仕組みをつくりあげたため, ガーナのカカオ豆の農園主は貧しく, その農園で雇われて働く子供たちはさらに貧しい状態に置かれている。</li> </ul>			

振 り 返 り	12 本時を振り返り、自分の生活との関わりについて問いかける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、チョコレートを買うべきかどうかについて意見を交流させる。【共有化】</li> <li>・ 自分の行動がチョコレート会社の利益やカカオ農園主やそこで働く人々の生活に大きく関わっていることに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 技能的側面</li> <li>・ 相違を認める</li> <li>・ 傾聴</li> <li>・ 適切な自己表現</li> </ul>
------------------	---------------------------------	--	--

(4) 映像出典

- 映像『おいしいチョコレートの真実』ACE（世界の子どもを児童労働から守るNGO）編
- 映像『あいのりガーナ横断中』フジテレビ番組（平成20年4月21日放映）